

# 報社神社祖天神明上

第191号 平成26年1月1日



## 年頭の御挨拶

天祖神社宮司 齊藤泰之

皆様新年明けましておめでとうございます。謹んで新年の御挨拶を申し上げます。平素は当社の諸行事に格別なる御尽力を賜り厚く御礼申し上げます。さて昨年は私にとりまして、上神明天祖神社宮司の大任を拝命した節目の年でございます。顧みれば平成六年四月に前奉務神社である富岡八幡宮に奉職し、以来様々な祭礼・行事に携わって参りましたが、これら約二十年に渡る貴重な経験を活かして、いよいよ上神明天祖神社の益々の隆昌に向けた第一歩を踏み出す事となりました。更に昨年は伊勢神宮式年遷宮が無事滞りなく斎行された佳節でしたが、当社におきましても前宮司の許、御鎮座六百九十年、上下分村三百七十年、さらには当社にとつてゆかりの巳年を迎えた意義深い年でございます。殊に台風直撃の中で迎えた蛇窪大祭では、不思議なことに晴れ間が現れ、盛大理に執り行う事が叶いました。まさに奇跡であり、誠に神がかりなお祭りでございます。また三十年来の念願であった上神明・下神明両社の御神輿十二基の対面が叶いましたことも感慨深く、これ等はひとえに責任役員、総代、神輿総代の皆様を始めとする数多くの氏子崇敬者各位による御尽力と御支援の賜物にほかなりません。深く感謝する次第です。

ところで日本は今、世情が大きく揺れ動いております。この様に激動する社会状況下こそ日本の歴史と共に歩んできた神社を見直す良い機会ではないでしょうか。氏神さまをお祀りする神社は、氏子崇敬者の御家門繁栄をお祈り申し上げると共に、例祭を始めさまざまな行事を通して、地域社会の輪の核となり、その発展と活性化に寄与すべき存在です。

幸い当社の例祭は、隔年の連合渡御が、東京の中でも有数なお祭りの一つとなり、また婦人部の皆様による演芸大会は、大勢の参詣者で賑わっております。他にも氏子崇敬者の皆様による御参列いただける様々な行事を行っており、たとえば、毎月一日午前七時より行われる「おついたち参り」と祭典終了後にお粥を戴く「朝粥会」は無料にて催され次第に定着して参りました。今後は、若い方々にも積極的に御参加いただけるように全力で取り組んでいく所存です。

私は文字通り浅学非才の上に、甚だ若輩者でございますが、氏子崇敬者の皆様の御期待に添うべく祭祀を厳修し、先人達が残された伝統を守り、そして後世に伝えるべく、微力ながらも神明奉仕に邁進する覚悟でございます。氏子崇敬者、また関係各位の皆様には、更なる御指導、御鞭撻、御協力をお願い申し上げます。

皆々様には蛇窪大明神の神々の広大無辺なる御神徳を授かりまして、この平成二十六年が益々御繁栄で、御多幸な年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

# 年頭所感

天祖神社氏子総代会々長  
草柳洋一

平成二十六年(西暦2014年)の新しい年が始まりました。元旦の神殿には氏子の方々が大勢拝殿に上がり、今年新しい宮司様による、厳肅なる「歳旦祭」の式典が執り行われます。名譽宮司様もご健勝にご列席されて、めでたく神社の一年の行事がはじまります。名譽宮司様は昨年の方分三百七十祭を機会に奇跡的にご健康が回復されました。陰ながら心から嬉しく思います。氏子の皆様には日頃から氏神様に崇敬の念厚く、神社の諸行事に多大なご協力をいただきますこと、衷心より深く感謝申し上げます。

昨年は天祖神社の厳島弁財天に五万人もの参拝者がつめかけましたが、これは干支のご利益を祈念するためです。干支は歴史的長い森羅万象の事象をとらえて、その年の事象を予測するものです。今年「甲午(きのえ・うま)」ですが、「甲」は「草木の芽が殻を破って頭を出す」で、「午」は陽の極みに位置するとあり、「世の中」の動きが後半から激しく動く」と言うことを告げています。私は干支の妄信者ではありませんが、世の中が大きなサイクルで動いていることは信じています。「甲午」は六十年サイクルでやってきました。1954年(昭和二十九年)の事は日本が高度成長期の始まりで、初の集団就職列車、ソニーのトランジスタラジオの発売、自衛隊の発足等がありますが、高度成長が始まった年といえます。今年がいかなる年になりますか?皆様と共に見守って行きたいと思えます。厳寒の折柄くれぐれもご自愛頂きますよう、ご各位のご清祥を祈念いたします。

## 氏神様に詣で

### 新年の御祈禱を

いたしましょう

厄除祈願 除災招福祈願  
家内安全祈願 良縁成就祈願  
合格祈願 事業繁栄祈願  
新年祈禱予約受け付けております。

## 新年祈禱御案内

一年の計は元旦にあり、新春にあたり氏神様に詣で、心あらたに過ごしましょう。

お正月は単に一年という時の流れの始まりではなく、神さまと人との結びつけ、家族の和を生み成す大切な伝統行事の一つであります。

## 年間の行事

一月 一日	歳旦祭	五月 五日	端午の節句
二月 三日	節分祭	六月 三十日	夏越大祓
四月 四日	初午祭	九月 未定	例大祭
十一月 十一日	建国記念祭	十一月 十五日	七五三
十二月 十七日	祈年祭	十二月 二三日	新嘗祭
十二月 三十日	ひな祭り	十二月 三十日	年越大祓
四月 十三日	弁財天祭り	三月 三十一日	除夜祭

## 初詣日帰りバス旅行の御案内

当社では毎年新春に際し、初詣バス旅行を実施致しております。どなたでも参加できますので、皆様の御参加をお待ち申し上げます。

日時 平成二十六年一月十二日(日)  
午前七時半出発  
集合 第二京浜中延駅ガード下  
行先 五反田方面 午前七時二〇分  
栃木県古峯神社 正式参拝  
昼食(神饌料理)  
会費 六、五〇〇円(交通費、昼食代)  
※玉串料は、神社より支出致します。

## 初午祭の御案内

和銅四年(七一一年)二月初午、稲荷山に大神様がはじめて鎮まられたことを起源としています。以来千三百年にわたり、農業神・商業神の神として信仰されております。

《日程 二月四日(火)午前十一時 齋行》  
儀式終了後、直会にて稲荷寿司や手巻き寿司などを接待いたします。

また直会の後、抹茶(豆茶)の接待がございます。お点前は、表千家 西澤社中の方々によります。

皆様のご参列をお待ち申し上げます。



# 平成26厄年(数え年)

※数え年とは、満年齢に誕生日前には2才、誕生日後には1才を加えた年です。

	前厄	本厄	後厄
男の厄年 大厄42才	24才 平成3年生 未(ひつじ)	25才 平成2年生 午(うま)	26才 平成元年生 巳(へび)
	41才 昭和49年生 寅(とら)	42才 昭和48年生 丑(うし)	43才 昭和47年生 子(ねずみ)
	60才 昭和30年生 未(ひつじ)	61才 昭和29年生 午(うま)	62才 昭和28年生 巳(へび)

	前厄	本厄	後厄
女の厄年 大厄33才	18才 平成9年生 丑(うし)	19才 平成8年生 子(ねずみ)	20才 平成7年生 亥(いのしし)
	32才 昭和58年生 亥(いのしし)	33才 昭和57年生 戌(いぬ)	34才 昭和56年生 酉(とり)
	36才 昭和54年生 未(ひつじ)	37才 昭和53年生 午(うま)	38才 昭和52年生 巳(へび)

※近年は、女61歳の還暦も男女共通で厄年とする場合もあります。

## 生命の言葉(一月)

あたらしくつくりし伊勢の宮柱  
うごかぬ国をなほ守るらし

明治天皇

明治二十二年に行われた第五十六回神宮式年遷宮は、維新直後の明治二年にも行われたが、実質的にはこの回が近代日本最初の御遷宮である。

激動の時代を生き抜くための基盤を、一層堅固なものとするための御意志と御覚悟を拝察することができる。

明治天皇(めいじてんのう)

一八五二―一九一二年、第二十二代天皇、近代日本の指導者として御自身の生活に西洋文化を取り入れ国民に新しい日本の姿を示された。文明開化の先達となる一方で皇后(昭憲皇太后)と共に九万三千余首の御歌を御詠みになられた。

## 子供節分祭 豆撒き式

二月三日(月)午後六時  
参加費無料

お子様にお菓子を差し上げます。(限りあり)  
特別ゲスト 鬼(おに)み  
などで丁寧に追い払いましょう。



## 七五三詣り御芳名

今年七五三詣りに御祈禱なされたお子様のご芳名を列記し心からご成長をお祈り申し上げます。  
敬称略

- |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |     |    |     |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|-----|----|-----|----|----|----|----|----|
| 平澤 | 中田 | 野口 | 澤田 | 石神 | 浅井 | 村山 | 村山 | 石井 | 八田  | 中村 | 鈴木 | 鈴木 | 森谷 | 森谷  | 永井 | 徳本  | 徳本 | 井藤 | 木田 | 岸本 | 曾我 |
| 空来 | 大賀 | 紗衣 | 芹葉 | 穂佳 | 孔太 | 巧  | 潤  | 彩  | 和樹  | 優希 | 愛菜 | 友菜 | 飛馬 | 紅音  | 洸  | 紗羽  | 頼広 | 奈実 | 羽奏 | 悠佑 | 真斗 |
| 竹下 | 伊藤 | 青木 | 佐藤 | 鈴木 | 中山 | 島田 | 藤澤 | 藤澤 | 長島  | 寺平 | 寺平 | 寺平 | 宮野 | 菱沼  | 神田 | 田口  | 磯  | 柳原 | 柳  | 松田 | 吉野 |
| 空  | 風  | 萌生 | 大河 | 優希 | 栞里 | 藍  | 温人 | 梨花 | 美津妃 | 遼太 | 聡太 | 海翔 | 清仁 | みずき | 悠  | 日菜  | 静来 | 雅希 | 実結 | 都沙 | 友晴 |
|    |    |    |    |    | 金子 | 高村 | 石井 | 伊藤 | 近藤  | 中村 | 入江 | 大井 | 大藤 | 中尾  | 井上 | 池田  | 小林 | 安田 | 北村 | 工藤 | 萩原 |
|    |    |    |    |    | 詩  | 美羽 | 夏子 | 沙羅 | 佑樹  | 旭玖 | 佑輔 | 宏夏 | 徠汰 | マコト | 七海 | 真珠歌 | 哉斗 | 華音 | 仁  | 琉夏 | 悠太 |

## 各地区敬老クラブ境内清掃奉仕

毎月十日朝各地区老人クラブの方々による境内清掃奉仕が行われております。今月は落葉の季節で十日と二十日の二回行われました。誠に有難うございます。

十一月十日にご奉仕なされた方々のご芳名

豊町五丁目 小野ヨシ恵様、森谷ミツ子様  
二葉三丁目 鈴木 伸子様、岸 寿江様  
豊町六丁目 平澤 晴雄様、山本正一郎様

戸越六丁目 酒井レイ子様  
二葉四丁目 福村 信子様

十一月二十日にご奉仕なされた方々のご芳名

豊町五丁目 相澤いつ子様、斉間 良江様  
二葉四丁目 荒木 綾子様、田母神英子様  
二葉三丁目 有路キヨエ様、渋井 ミツ様  
戸越六丁目 平本イマ子様、中村登美代様  
豊町六丁目 芳賀 明美様、細田 良子様

十二月十一日にご奉仕なされた方々のご芳名

二葉三丁目 木暮 照子様、川島美代子様  
二葉四丁目 小島 幸子様、中村タミ子様  
豊町五丁目 阿部イキ子様、佐久間梅子様

## 初詣

一月一日午前〇時より午前一時半位まで  
・御神米と御神酒の授与  
・甘酒の振る舞い(限りがございます)  
神輿連合会有志による奉仕が行われます。  
・古神札お焚き上げ  
荏原消防団第四分団の皆様の御奉仕で行われます。  
皆様のご参拝を心よりお待ち申し上げます。  
宮司 拝

一月二日 午前十一時 江戸消防記念会第七区の皆様による梯子乗りが行われます



## 菊花のご奉納

二葉四丁目在住の富田秀雄様、登美子様御夫妻より今年も一年間丹精こめてみごとに開花させた菊の鉢をご奉納下さいました。誠にありがとうございます。

十一月は七五三のシーズンで、お詣りの方々は社殿前に飾られた美しい菊花を背景に記念写真を撮っていらつしやいました。

## 月次祭

毎月一日午前七時より、その月の氏子の皆様の家内安全を祈る月次祭を行っております。参列者全員で「大祓詞」を奉唱し、社務所において「朝粥」を食し歓談いたします。

★十一月一日に参列なさった方々のご芳名  
草柳洋一様、矢羽直公様、金子省太郎様、高須みちよ様、井渕良子様、柵木ヒサ様、青柳富子様、白土政江様、富田登美子様、江黒勝子様、飯田 修様

★十二月一日に参列なさった方々のご芳名  
草柳洋一様、矢羽直公様、金子省太郎様、磯 昭夫様、佐藤武利様、清水庄司様、千葉信昭様、谷川 寛様、川井善則様、武内達治様、高須みちよ様、井渕良子様、柵木ヒサ様、白土政江様、柴田よし子様、相川純子様、宇野富雄様

## 天祖神社々務所

〒一四二一〇〇四三

東京都品川区二葉四一四一十二

TEL 〇三(三七八二)一七一

FAX 〇三(三七八二)一七一

http://www.蛇窪.jp